

和し 鍛え 学ぶ

9月27日（金）は生徒の歌をぜひ聴きに来てください

暑い日が続いている。本格的な秋の到来はまだ先のようです。夏休みが明けてまだ2週間もたっていませんが、生徒たちは忙しく充実した学校生活を送っています。先週から今週月曜日にかけては後期期末テスト（9教科）が行われ、翌日からは9月27日（金）の音楽フェスティバル（合唱コンクール）のための特別日課が始まりました。全校を挙げて合唱に取り組むのは、なんと5年ぶりです。朝や帰り、休み時間になると合唱がいろいろなところから聴こえてきます。



歌が苦手な子もいるでしょう。「みんなで一つのことをやるのがあまり好きではない、苦手だ」という子もいるでしょう。そんな中で、クラス全員が同じ方向を向いて一つのものを作り上げていくのは簡単ではありません。でも、仲間がいるからハーモニーが生まれる、一人では合唱はできない、「たかが合唱、されど合唱」です。一生懸命に取り組む中で何かをつかんでほしい。中学校における行事の意義はそこ 있습니다。

他のクラスの合唱を聴いている3年生のまなざしから

今日（9月13日）の5、6時間目に、他学年に先駆けて3年生が音楽フェスティバルの学年リハーサルを体育館で行いました。リハーサルの目的は「当日の動きを知ること」そして「今の段階の自分たちの課題をつかむこと」です。テストが終わってまだ3日、本番までまだまだ時間がある中のリハーサル。今まで十分に練習時間があったわけではありませんし、どのクラスも音程が不安定な個所が残っている状態での発表です。

3年生にとっては、今年の音楽フェスティバルが中学校生活において最初で最後の音楽フェスティバルです。今までこうした経験がない中で、しかも曲のレベルは最上級生にふさわしく難しい今まで、どれだけできるか不安でした。しかし、さすが3年生。時間を見つけて各パートの音を取り、どのクラスも基本的な形ができていることに感心しました。そして、何より印象的だったのが、他のクラスの合唱を聴いているときの生徒たちのまなざしです。まっすぐな目で他のクラスの合唱を聴き、演奏が終わると心から拍手を贈っていました。（続きます）



自分たちも時間のない中で一生懸命に頑張っているからこそ、他学級の子たちの頑張りや、真剣な表情や、緊張しながらも一生懸命に歌う姿に自分の気持ちを重ねて、そこに何か価値を見出している、生徒たちのまなざしに私はそんなことを感じました。



何でも簡単に答えが見つかる世の中。自分が汗をかかなくても、他人の経験をあたかも自分の経験のようにすることができる（錯覚できる）時代です。しかし、それだけでは人としての根っここの部分を太くすることはできないと私は思います。末中の子たちには、本気で何かに取り組むことでしか味わえない良さや、そうすることでしか得ることのできない価値を自分の中に育て、ほかの人の中にある同じ価値に気づく力や瑞々しい心でほかの人の価値を受け取れる心を育ててほしいです。



